2026年10月30日

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および ＫＰＩ実績値の公表について

- 当組合は、「地域農業を守り育み、地域と農業のかけはしとなり、地域社会のゆたかな未来へ貢献します」の経営理念のもと、地域に貢献し、選ばれ続ける組織となるよう総合性を発揮した事業活動を実践するとともに、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を策定しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通ＫＰＩ」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（ＪＡ共済連）が、共同で事業運営しております。

つがる弘前農業協同組合

Ⅰ.取組状況

1　組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

（１）信用の事業活動

【原則2本文および(注)，原則5本文および(注1)，原則6本文および(注3･6･7)，補充原則1～5本文および(注)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、組合員・利用者のみなさまの多様なニーズにお応えできる最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- ＪAバンク全体として、金融商品を購入したみなさまの属性および販売状況に関する情報等を投資運用会社と共有し連携を図るとともに、投資運用会社による適切な商品組成と管理・透明性の確保を後押しします。

＜投資信託の取扱い商品ラインナップ（2026年3月末時点）＞

カテゴリ	国内	海外
債券型	1	4
株式型	4	10
REIT型	1	2
バランス型	9	

※　現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

＜商品選定の考え方＞

1　長期投資を前提とした投資信託であること
2　手数料が良心的な水準であること
3　過去の運用実績が相対的に良好であること
4　資産形成層には、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと
5　運用体制について、外部機関の評価を得ていること

Ⅰ.取組状況

1　組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

（２）共済仕組み・サービス　【原則2本文および(注)，原則5本文および(注1)，原則6本文および(注3)，補充原則1～5本文および(注)】

- 「ひと・いえ・くるま・農業」の総合保障を通じて、安心して暮らすことのできる充実した保障・サービスの提供を展開しております。
- 最新のがん治療の費用に対応するため、在宅医療の保障や、月ごとの治療費の自己負担を保障するために、月額保障をベースとして、入院日数にとらわれず、入院・治療などを包括的に保障し、がん先進医療共済金の通算支払限度額も引き上げております。また、日常生活事故による被害の損害賠償請求にかかる弁護士費用などの負担に備えられるよう、自動車共済において「日常生活事故弁護士費用保障特約」を新設しております。さらに、保障漏れの防止を図るため、建物更生共済において自動保障となる工作物の範囲を拡充しております。
- 市場リスクを有する共済仕組みの提供は実施しておりません。
- 総合満足度は、令和8年7月末時点で95.4%となっており、高水準を維持しております。
- 共済事業については、全共連と共同で事業運営を実施しており、組合員・利用者の皆さまの声や共済事業に関する各種情報を相互に連携し、共済仕組み・サービス向上に取り組んでおります。

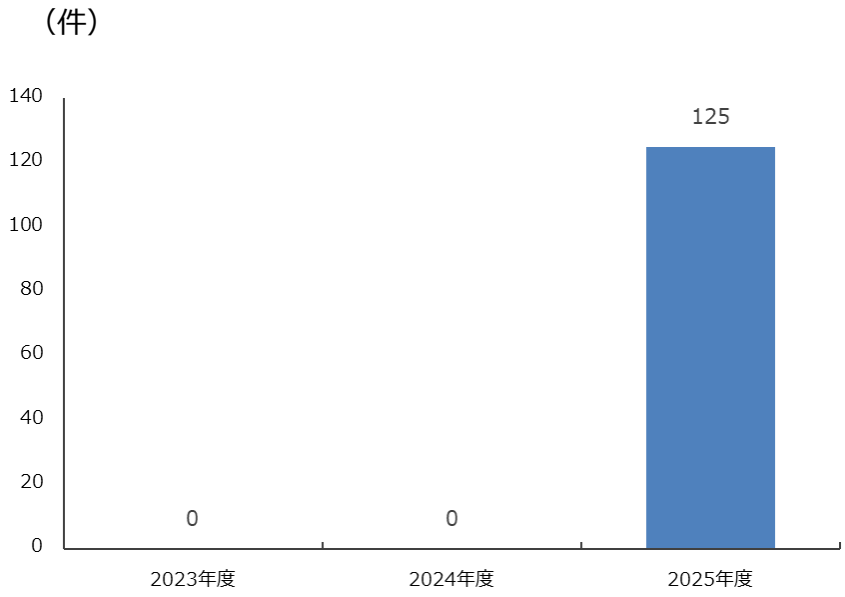
2　組合員・利用者本位の提案と情報提供①

（１）信用の事業活動

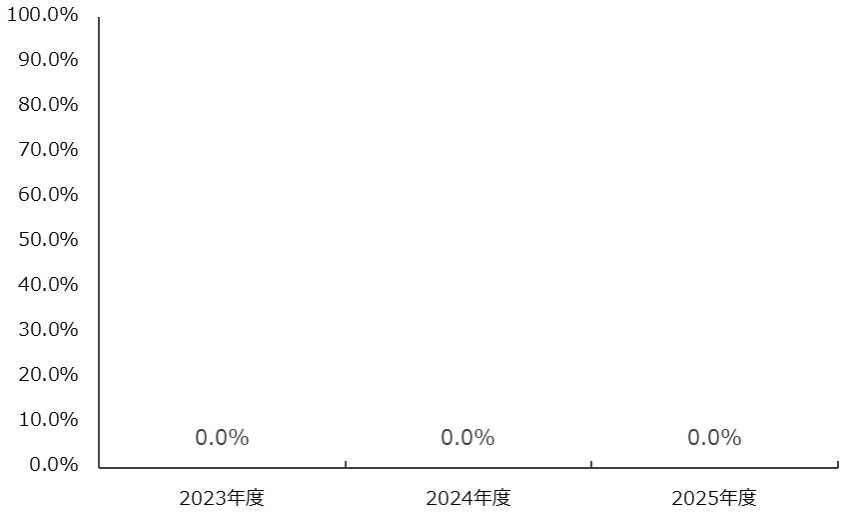
【原則2本文および(注)，原則4，原則5本文および(注1～5)，原則6本文および(注1～5)】

- 当ＪＡでは、2025年度から投信取扱を開始しておりますが、組合員・利用者の皆様に安定的な運用成果をご享受いただくために、組合員・利用者の金融知識・取引経験・取引目的・資産状況をご確認させていただき、属性および適合性を判断したうえで、ご意向や運用ニーズに合った金融商品をご提案した結果、「投信つみたて」を利用される組合員等が増加しました。ただし、「毎月分配型ファンド」を選択される組合員等はありませんでした。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



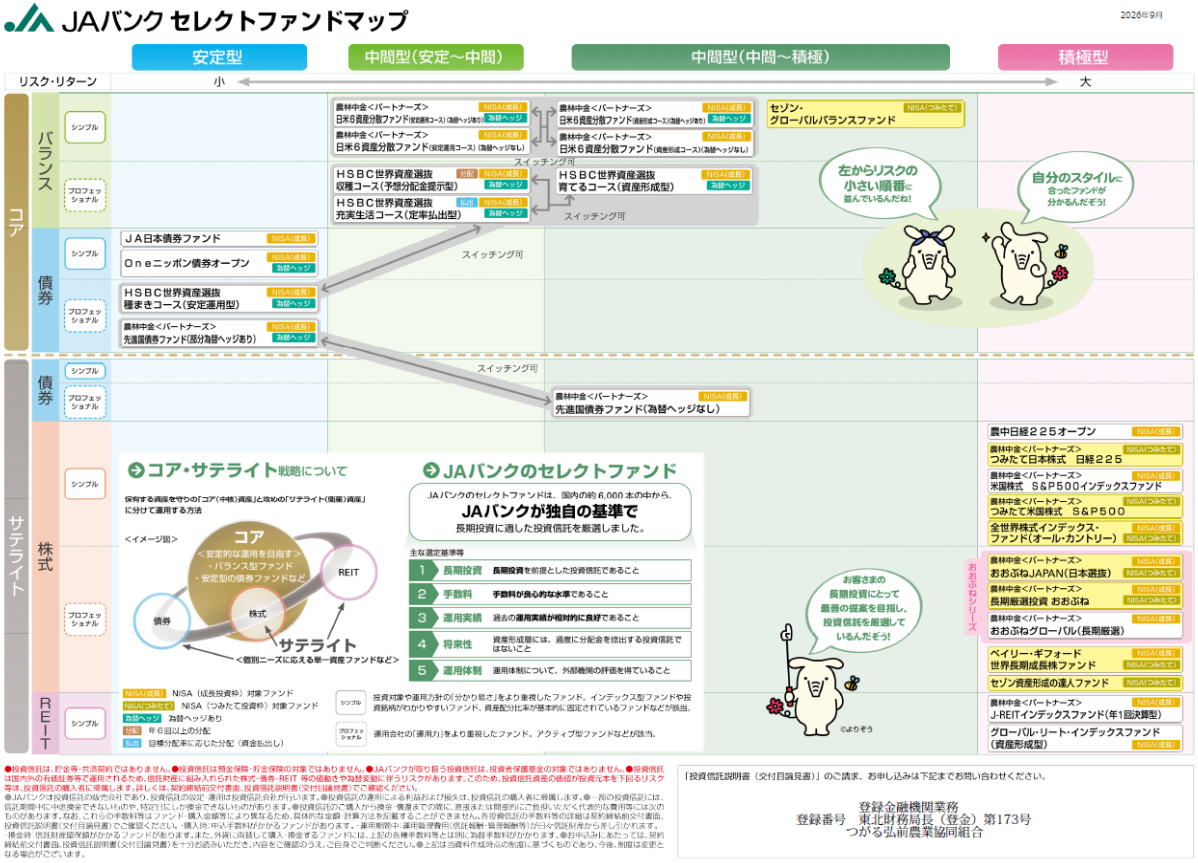
Ⅰ.取組状況

2　組合員・利用者本位の提案と情報提供②

（１）信用の事業活動

【原則2本文および(注)，原則4，原則5本文および(注1～5)，原則6本文および(注1～5)】

- 組合員・利用者の皆様の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項については「ＪＡバンクセレクトファンドマップ」等を用いて、理解度に合わせて丁寧かつ分かりやすくご説明し、十分な情報提供を実施しております。
- なお、2025年4月より重要情報シートを導入しております。



2　組合員・利用者本位の提案と情報提供③

（２）共済の事業活動

【原則2本文および(注)，原則4，原則5本文および(注1・4・5)，原則6本文および(注1・4・5)】

①共済仕組み・サービスのご提案

- 共済仕組み・サービスのご提案にあたっては、対面・非対面を織り交ぜて組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向を適切に把握しております。
- 組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向に基づき、保障設計書などにより、最良・最適な共済仕組み・サービスを提案しております。
- ニーズに合致したと思われる共済仕組み・サービスについては、重要事項説明（契約概要・注意喚起）を実施し、特にご確認いただきたい事項や不利益情報を分かりやすくご説明しております。

②情報提供

- ホームページなどにより情報提供を実施しております。
- 情報提供にあたっては、リーフ・パンフレットなどにより、分かりやすくご説明しております。

③契約締結時の対応

- 保障設計書などを通じて、ご提案した共済仕組み・サービスが組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向に沿ったものであるか確認しております。

2　組合員・利用者本位の提案と情報提供③

（２）共済の事業活動

【原則2本文および(注)，原則4，原則5本文および(注1･4･5)，原則6本文および(注1･4･5)】

④高齢者対応

- ご高齢の組合員・利用者の方については、ご家族も含め十分ご納得、ご満足いただけるよう、提案説明時、契約締結時には、意向確認などにより、きめ細やかな対応を行っております。また、「共済契約のお手続きに関するご案内」をお渡しすることで、ご契約者さま・被共済者さまだけでなく、ご親族の方にもご安心いただけるよう努めております。
- 高齢者対応における親族などのご同席の割合は、令和7年度は72.2%となりました。

⑤各種手続きとアフターフォローの実施

- 各種お手続きの実施にあたっては、組合員・利用者の皆さまに分かりやすくご説明しております。
- 将来、ご自身によるお手続きが困難になった場合の備えとして、「指定代理請求人」にご家族を指定いただくことをご案内しております。（生命総合共済の場合）
- 支払請求手続きの簡素化を推し進めるなど、組合員・利用者の皆さまの利便性向上に向けて取り組んでおります。
- ご加入後も、3Q活動・あんしんチェックを通じて請求忘れのご確認に加え、ライフステージにフィットした加入状態への保障最新化や契約保全につながるよう、ニーズ把握を意識した近況確認を実施しております。
- 保障のご加入にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者の皆さまに手数料などは、ご負担いただいておりません。

3　利益相反の適切な管理

【原則3本文および(注)】

- 組合員・利用者の皆さまの利益を不当に害することがないように、利益相反管理方針に基づき、適切に管理しております。
- 営業部門から独立した利益相反管理統括部署を設定のうえ、利益相反のおそれのある取引を特定し利益相反を管理しております。
- 以下の観点で利益相反のおそれのある取引を類型化し、効率的に管理することで、遺漏なく利益相反取引を検知する体制を整えています。
  ①組合員・利用者の皆さまと当組合の間の利益が相反する類型
  （例：経済事業を利用する際の前提として、共済事業の利用を条件とする場合）
  ②特定の組合員・利用者の利益を他の組合員・利用者の皆さまの利益より優先する取引
  （例：接待・贈答を受け、または行うことにより、特定の取引先との間で一般的な水準から乖離した水準で取引を行う場合）

４　組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

【原則2本文および(注)，原則7本文および(注)】

①組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

- 当組合は、職員への各種事務手続き研修をはじめ階層別研修やコンプライアンス研修など多様な研修を実施しており、組合員・利用者本位の業務運営を実現するための態勢を構築しております。また、証券外務員やファイナンシャルプランナーなどの資格取得支援を通じた人材育成にも取り組んでおります。

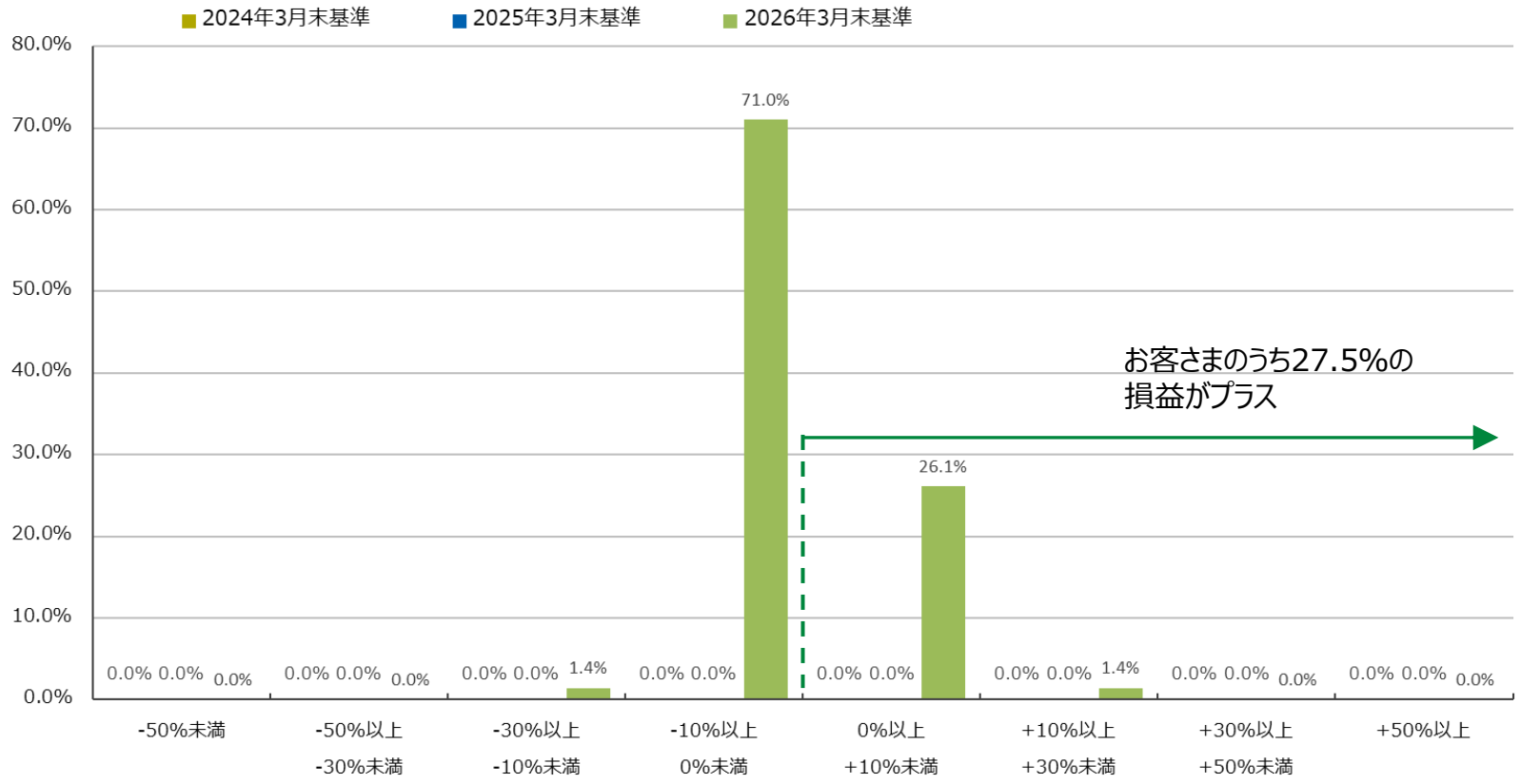
②組合員・利用者の皆さまの声を活かした業務改善

・当組合は、組合員・利用者の皆さまの声を業務改善に活かすため、いただいたご意見を集約してデータ共有するとともに、必要に応じて会議体等で協議しております。

Ⅱ.比較可能な共通ＫＰＩ

1　運用損益別顧客比率（投資信託）

- 投信取扱い開始が2025年4月と運用期間が短いお客様が多いため、年度末の株価変動による影響を受けたことで、運用損益がマイナスとなったお客様の比率が増加しております。
- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2026年3月末時点では全体の27.5%のお客さまの損益がプラスとなりました。

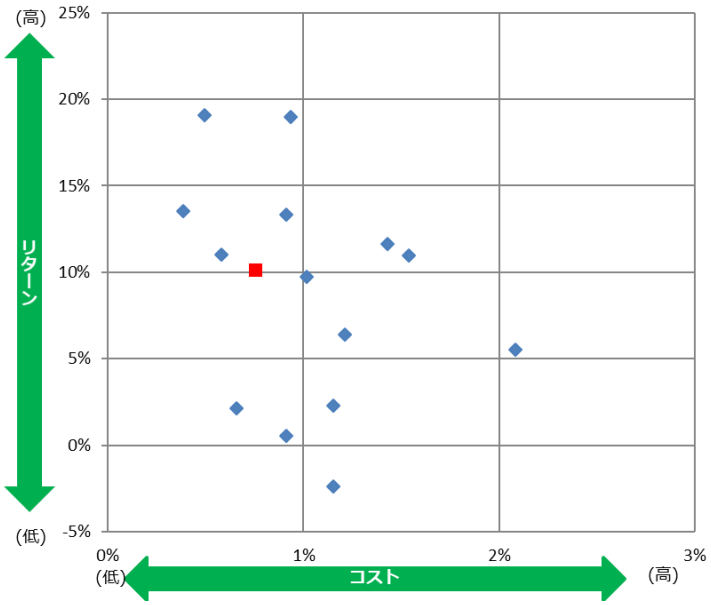


Ⅱ.比較可能な共通ＫＰＩ

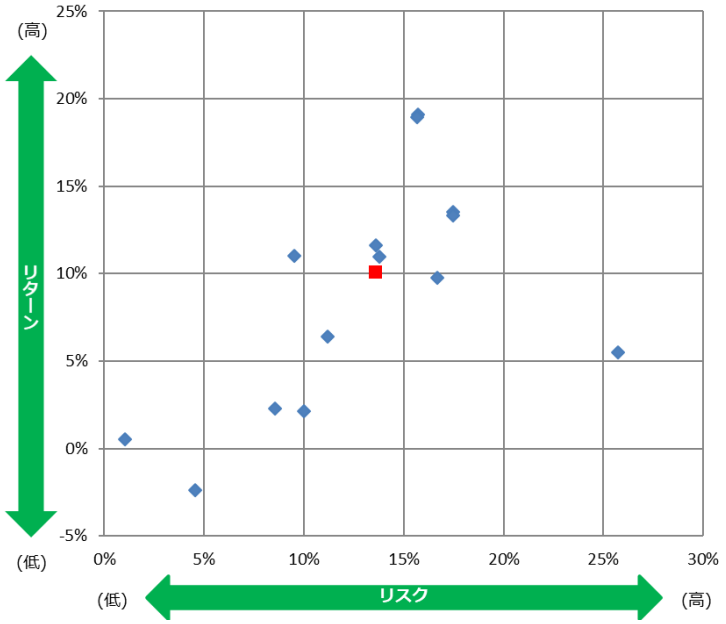
2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2026年3月末）

- ＪＡバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2026年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.75%、平均リスク13.60%に対して、平均リターンは10.09%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※各ファンドのコスト・リスク・リターンは、12ページに掲載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通ＫＰＩ

3　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2026年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン（年率）	リスク（年率）	コスト 全体
1	つみたて米国株式　Ｓ＆Ｐ５００	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	19.09%	15.70%	0.50%
2	つみたて日本株式　日経２２５	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	13.54%	17.49%	0.39%
3	Ｊ－ＲＥＩＴインデックスファンド（年1回決算型）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	2.15%	10.01%	0.66%
4	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne（株）	0.54%	1.03%	0.91%
5	日米６資産分散ﾌｧﾝﾄﾞ(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-2.38%	4.57%	1.16%
6	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント（株）	5.51%	25.75%	2.08%
7	長期厳選投資　おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	11.63%	13.63%	1.43%
8	農中日経２２５オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	13.33%	17.47%	0.91%
9	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	10.96%	13.78%	1.54%
10	米国株式　S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	18.94%	15.69%	0.94%
11	日米６資産分散ﾌｧﾝﾄﾞ(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	2.28%	8.56%	1.16%
12	グローバル・リート・インデックスファンド（資産形成型）	大和アセットマネジメント（株）	9.75%	16.70%	1.02%
13	おおぶねＪＡＰＡＮ（日本選抜）	農林中金バリューインベストメンツ（株）	6.40%	11.20%	1.21%
14	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	11.04%	9.52%	0.58%
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		10.09%	13.60%	0.75%

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。